

# 地域医療連携室だより

153号



## トピックス

- 医師紹介
- 医師紹介
- 医師紹介
- 生理機能検査紹介 NO.4
- 座 チャレンジ みんなでヨ〜ガ始めよう NO.2
- ご注意ください

## 新潟市在宅医療・介護連携ステーションについて

平成29年4月、新潟市が取り組んでいる「在宅医療・介護連携事業」に基づき、西区2番目のステーションとして「新潟市在宅医療・介護連携ステーション西第二」を受託いたしましたので別紙ご案内いたします。

地域の在宅医療の充実を目指して、医療・介護関係の皆様のご協力をいただきながら今後活動してまいります。

## 基本理念

病める人の権利と心情を重んじ信頼される医療を行います。

## 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します。
- ・次世代の医療を担う人材の育成に努め、時代の変化に対応できる中核病院としての役割を果たします。
- ・地域包括ケアシステムを推進する取組みを進め、地域の医療、保健、福祉の向上に貢献します。
- ・患者さんに喜ばれ、誇りをもって働くことのできる病院づくりに努めます。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより153号

発行日 平成29年6月1日

編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会

信楽園病院 地域医療連携室

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11

TEL025-260-8101 FAX025-260-8102

<http://www.shinrakuen.com>

新潟市在宅医療・介護連携ステーション西第二

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11

TEL025-260-8108

呼吸器内科外来：火曜日・金曜日

呼吸器内科、感染症内科 阿部 徹哉

4月に呼吸器内科に赴任いたしました阿部徹哉と申します。

私は昭和46年に長岡市で生まれましたが、物心がつく前に引っ越して、高校まで新潟市（現在の東区）で過ごしました。平成8年に山形大学医学部を卒業後、新潟に戻って新潟大学第二内科（現呼吸器・感染症内科）に入局し、呼吸器内科医として新潟市民病院、燕労災病院、県立がんセンター新潟病院などの関連病院で勤務してきました。平成27年にいったん大学に帰局した後、このたび信楽園病院への配属を志願して4月からお世話になることとなりました。

これまで私は呼吸器疾患の中でもおもに肺がんの診療を専門としてきました。肺がんは進行がんで見つかることが多く、日本では年間7万人以上が亡くなる最も死亡数の多いがん種となっています。私が肺がん診療を始めた頃は化学療法の効果も極めて限定的で副作用も強かったので治療による患者さんのメリットはあまり実感できないものでしたが、21世紀に入ってから分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬などが臨床導入され、進行がんであってもQOLを維持したまま数年の予後が期待できるまでに進歩してきています。肺がん診療は著しく専門化してきているため、大学やがんセンターなどの専門病院に紹介せざるを得ない場合も多々ありますが、増え続ける肺がん患者さんの治療を専門病院のみで完結させることは現実的に難しくなっており、治療の引継ぎのために紹介元や近隣の医療機関に逆紹介されるケースも多くなっています。幸い当院にも肺がんの薬物療法や緩和ケアに興味を持っている医療スタッフはたくさんおりますので、これから少しずつ治療のできる体制を整えていければと考えています。そのためにも是非患者さんをご紹介いただければ幸いに存じます。

また、肺がんに限らず、肺炎、気管支喘息、COPDなど、呼吸器疾患でお困りの患者さんがおりましたらご紹介ください。一呼吸器内科医として地域医療に貢献したいと考えております。

至らない点も多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

神経内科外来：月曜日・金曜日

神経内科 鳥谷部 真史

4月から信楽園病院で再びお世話になります。以前は、神経内科外来をお手伝いしておりましたが、今回は病棟も含めて勤務することとなり、皆様のお役に立てるように努力して参ります。

神経内科は脳卒中やパーキンソン病、認知症、てんかん、神経難病など幅広い疾患に関わると同時に、急性期から慢性期、在宅までの期間、患者さんの一生に関わる診療科です。また、脳は考える、行動する、会話をするなど、人間らしい行動をするために最も中心的な役割を担う臓器であります。患者さんが人間らしい生活を送ることができるように、患者さんとともに考えながら診療していきたいと思ひますし、それが神経内科の醍醐味ではないかと思ひております。

ここ数年、脳卒中の治療はめまぐるしく進歩しています。発症から治療開始までの時間が短ければ短いほど、生命予後や機能予後の良いことがわかり、1分でも早く治療を行うことが求められる時代になっています。市民への啓蒙活動、救急隊との連携、Drip and Ship, Retrieveによる病院間のシームレスな連携、血栓回収までの標準的プロトコルの作成など、さまざま活動があります。2005年にt-PA（組織型プラスミノゲン活性化因子）静注療法が認可されましたが、改善すべきことがまだまだ多く残っています。また、急性期治療の後には、回復期リハビリテーション、在宅での維持期リハビリテーションが必要になりますが、それらを幅広く診療するのがなかなか難しいのが現状です。ですが、患者さんが人間らしい生活を送れるように、維持期リハビリテーションまで診療できるようになりたいと思ひています。

今まで急性期病院に勤務することが多かったのですが、神経救急疾患をはじめとして、神経疾患を全般的に診療していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

内科新患外来：木曜日

呼吸器内科、感染症内科 山本 絢子

4月より呼吸器・感染症内科に赴任いたしました山本絢子と申します。

生まれは関西地方で、東北地方で医学の道を歩み始めました。初期研修時にご指導下さった先生が感染症内科だったことがきっかけで、感染症内科を志し、初期研修修了後は臨床検査及び感染制御を学んでまいりました。この度、感染症診療の経験を積むべく、信楽園病院に参りました。新潟県は積雪の多いイメージでしたが、4月には雪はどこにも見られないこと、桜が咲くことに驚いております。地域に貢献できるように努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

私は昨年までは東北地方の感染防止対策加算 1(感染防止対策地域連携加算)を算定している病院で感染制御の一員として、勉強させていただきました。毎週病棟を ICT ラウンドし、環境整備に努めてまいりました。感染制御は限られた予算と限られた人員でいかに効率よく対策できるかという点が課題だと考えています。理想的な感染対策を完璧に行うのは困難で、協力してアウトブレイクを起こさない状態をいかに維持するかを考えなければなりません。1つの医療施設のみでは地域の感染対策は解決しないものと考えております。信楽園病院も感染防止対策加算 1(感染防止対策地域連携加算)を算定しております。他施設の皆様と協力し地域の感染対策に努めたいと考えております。

着任して日は浅いですが、新潟県も高齢者が多い印象があります。当院で入院している患者様でも誤嚥性肺炎の方が多くおられます。嚥下機能の低下は加齢性変化による影響もあるため、根本的な解決には至りませんが、侵襲性肺炎球菌感染症は肺炎球菌ワクチンで介入可能な疾患です。新潟市は初回の肺炎球菌ワクチンの助成がされておりますので、対象年齢の患者様を診察された際には、ワクチンを患者様にご提案いただけたら幸いです。

細菌の薬剤耐性化が進んでおり、昨今政府から抗菌薬の適正使用について活発に提案がされております。耐性菌が蔓延しないように抗菌薬を処方しすぎることがないように、一方で耐性菌を気にかけて目の前の患者様に影響が出ることのないようにバランスよく対応することが求められていると思います。呼吸器・感染症内科医として一層勉強させていただく所存です。ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



## ホルター心電図検査

ホルター心電図検査とは、心電図を最長 24 時間(機械によっては 48 時間)まで記録し不整脈の有無などを調べる検査です。

日常生活の中で胸の動悸やめまいなどの症状があり、病院に受診される方は少なくありません。しかしながら一般的に行われる十二誘導心電図検査は短時間の記録であり、検査時に症状が出ていない場合などでは、原因をしっかりと捉えられない可能性があります。この欠点を補うのがホルター心電図検査です。長時間記録することで夜間や朝方に好発する心電図変化や、無症状であっても起こりうる重症な不整脈(完全房室ブロックなど)を記録できる可能性が高まります。

尚、ホルター心電図の「ホルター」は長時間心電図記録法の発表者であるアメリカ物理学者の Holter 博士の名前に由来しています。



ホルター心電図検査では、胸にシール電極を貼り、小型の機械を装着します。そのまま帰宅し、翌日に再度病院へ来ていただき、電極と機械を外し終了となります。

その後、記録されたデータを解析し、次回診察の時に医師から結果説明が行われます。

当院の場合、データ解析は解析センターへ依頼しています。

解析センターで循環器医師の判読が行われ、報告書として届きます。

この検査から不整脈(時には心筋虚血)の有無、また症状が心臓に起因するものか調べることができます。その他にも最大・最小心拍数や不整脈の種類、薬物治療効果やペースメーカーの機能評価なども調べることができます。

また、当院では 1992 年に Brugada 兄弟が報告した Brugada 症候群における心電図異常(coved 型,saddle-back 型の波形 type 識別および検出記録(日内・日差変動あり))を目的とした検査も行っています。



# 座 チャレンジ みんなでヨ～が始めよう

NO.2

2回目は「お尻から」、腰周りに効果のあるポーズです。片足で立って靴下を履けますか？

転びやすくなっていませんか。 今回もポイントを抑えゆるーくいきましょう。



## 木のポーズ

大切なのは腰を上  
に上げ！上げ！



両手でバランス  
をとっても OK



手や足の格好より、「腰を上にくっと引き上げる。」これを意識して下さい。

背中やお尻・脚など、身体の後ろを鍛える事で姿勢が整います。全てのポーズは息を止めずに深～い鼻呼吸で、左右それぞれ3呼吸くらいを2セットずつ行います。

これで貴方も美しい立ち姿に（うしろ姿は20代？）。さあ一緒に！

## ご注意ください



当院では特殊詐欺を防止するため、ATM 脇で警察官のパネルが音声で注意を呼びかけ、優しく見守っております。

「携帯電話を使いながら ATM を操作しないでください」



「ATM でお金が戻ると言われてませんか？それは詐欺です」

